



第3回音楽喫茶おおたけ
Oh!バンブー倶楽部
(代表 前田携帯 ☎090-9509-2511)

大竹を元気に盛り上げるため、大竹駅前の空店舗を活用して、4月から9月までの毎月第2土曜日に演奏会を開催しています。

当日は飲み物や料理を会場内に持ち込んで飲食できます。店頭販売もしていますので、ご利用ください。

とき 6月14日(土)

19時～20時30分

ところ 大竹駅前丸山商店2階

司会ナビゲーター

メロイエロー(市内在住のフォークグループ)

出演

○Still More(スティル・モア)
歌は熱く、演奏はシンプルに。個性はばらばらの4人が奏でる音楽で一つになります。懐かしいポップスを歌う素晴らしい歌唱力の市内在住グループです。

○M&J
映画音楽や懐かしい洋楽、カントリなどを中心に歌っています。ジーンさん(フィリピン出身のボーカル)と越道さん(ギタリスト)の素敵なユニットは安芸高田市からの参加です。

参加料
1人500円(高校生以下無料)
申し込み
電話でOh!バンブー倶楽部へ。
(当日参加可)



第1回音楽喫茶の様子。
観客たちは、フォーク、歌謡曲、ジャズなど多彩なジャンルの音楽に聴き入った。

6/21 国際料理教室



私と一緒に
楽しく作りませんか

参加者募集

「ギネスシチューに
「ゴルカノン」。
アイルランド料理を
おいしく作って
楽しく国際交流しませんか。

問い合わせ 大竹国際交流協会事務局
(企画財政課内) ☎2125

講師は、イギリス生まれのアイルランド育ち。料理を作ったり、新しい食べ物や飲み物を試したり、新しいことにチャレンジすることが大好きな方です。

一緒に作る料理は、2品。アイルランドの黒ビール「ギネス」を加えて煮込んだビーフシチューの「ギネスシチュー」。ポテトサラダに似たじゃがいも料理「ゴルカノン」を予定しています。

どちらも、とてもおいしいアイルランドの料理です。

とき 6月21日(土)

9時30分～13時

ところ 総合市民会館

7/5 国際理解講演会

映画と文学、スポーツ観戦が好きな
アメリカ人講師による講演

問い合わせ 大竹国際交流協会事務局
(企画財政課内) ☎2125

国際交流協会は、国際相互理解を深めるため、毎年海外の方を迎え、講演会を開催しています。

詳しくは広報おおたけ7月号でお知らせします。

とき 7月5日(土) 15時～16時30分

ところ ギャラリーおおたけ(市立図書館2階)

講師 ノア・マッキンズカスさん(アメリカ出身)



対象

○市内在住または勤務の方
○国際交流協会会員

(小学生だけの参加も可能)
※ビールを使いますが、アルコールを飛ばしますので、子どもでも食べられます。

講師 ローリー・マクナルティさん
定員 20人程度(申込順)

参加料

○大人 500円
○小学生以下 300円

※国際交流協会会員は無料。

持参品 エプロン、三角巾、布巾

申し込み

6月13日(金)までに電話で大竹国際交流協会事務局へ。

おめでとうございます

空手道禅道会 中国地区グランド(組技)大会で 4人が優勝

3月9日に廿日市市スポーツセンターで開催された空手道禅道会 中国地区グランド(組技)大会において、4人が優勝しました



中学生の部

橋原 銀芽くん

(小方中3年生)



小学6年生の部

千田 虎将くん

(小方小6年生)



小学4年生の部

島津 陽希くん

(小方小3年生)

※1学年上の部に出場



小学2年の部

千田 龍弥くん

(小方小2年生)

※ 学年は大会開催の3月のものです。

消防協力者表彰

3月8日栗谷町で発生した建物火災において、迅速な初期消火を行い、消防車が到着するまでの間、火災の拡大を防いだことに対し、次の8人の方に消防長から表彰状と記念品が手渡されました。

浴 春雄さん 田中 邦明さん 忠田 真さん 豆谷 徹夫さん

所 宏さん 藤井 俊彦さん 古江 一夫さん 吉岡 進さん



瑞宝単光章

福本 聖 さん(71歳 油見3)

長年にわたり、消防団活動の進展に貢献された功績

厚生労働大臣特別表彰

杉本 靖子 さん(77歳 西栄1)

村中 勝榮 さん(77歳 黒川3)

前川 鈴江 さん(76歳 栗谷町小栗林)

長年にわたり民生委員・児童委員として
地域福祉の増進に寄与された功績

平成26年度 危険物安全週間推進標語決定

「危険物 読みはまっすぐ
ゼロ災害」

このたび、平成26年度危険物安全週間推進標語に、応募総数10,136作品の中から、市内在住の内海照義さんの作品が最優秀作に選ばれました。危険物安全週間推進ポスターに記載されます。ポスターは市内各所に掲示される予定です。

危険物安全週間(今年度は、6月8日から6月14日まで)は市内の危険物施設に消防職員が立入検査を行ない、施設の安全を確認します。